

## 思考は実現化する

一般財団法人アーネスト育成財団  
理事長 西河洋

色々な機会に、経営者の方とお話する機会があります。物事あれこれ考えるのだけれど、なかなか思うようにならないと話される方がいます。私は約20年前に会社の社長になり、当時社員10名位の会社でしたが現在は一万人を超えるグループ会社の取締役会長をしています。このように小さな会社を千倍にしたわけですが、このような経験ができる経営者はなかなかいないと思います。

思うようにならないと話される方と何が違うのでしょうか？色々な話を聞いてみると、私と明らかに違うなと思うことは『経営に対する思考』だと思います。

『今年は、何とか赤字にならないようにして、できれば5~10%ぐらい会社を伸ばしたい』。すると『赤字、黒字』と意識し『10%成長』と意識する訳です。

経営としては、それ以上のことは考えないので、それなりの結果になるわけです。『絶対黒字』と願っても、心の底に『赤字が心配』というネガティブの考えが作用すれば、赤字になってしまうこともあります。

私は社長を1年経験してその時に会社の成長をシュミレーションして『私がこの会社を1兆円売り上げる会社にする、78歳の時まで』と思考したわけです。

そうすると、一兆円を40年で割ると年間250億円の売り上げですからこの金額を増やし、それには年間千棟の建物を増やし、出店10店舗、増員百人。そのためには経常利益率10%くらい必要だ。

そうやって、思考を数字に置き換えて、常に数字を意識して経営しました。債務超過の会社でしたから、資金面で大変心配ではありましたが、沖縄方言の『なんくるないさ』的なポジティブ思考で進んできて、現在があります。

私は、個人的にはIQが高いわけでもなく、ごく普通レベルの人間だと思います。それでも、これだけのことができたのは、企業力、チームワークだと思います。

これまで20年間、経営者としては順調に成長し続けたわけではなく、山あり、谷ありでした。特に『リーマンショック』の谷の時には、会社の存続も危なかったこともあります。社長になったばかりの頃、『唱えれば、叶う』と合言葉のように、つらい仕事に向かっていったことを思い出します。

人間一人一人波動を持っていて、ポジティブに互いに共振することで、より大きい成果を上げられると私は信じています。『引き寄せの法則』で『思考は実現する』